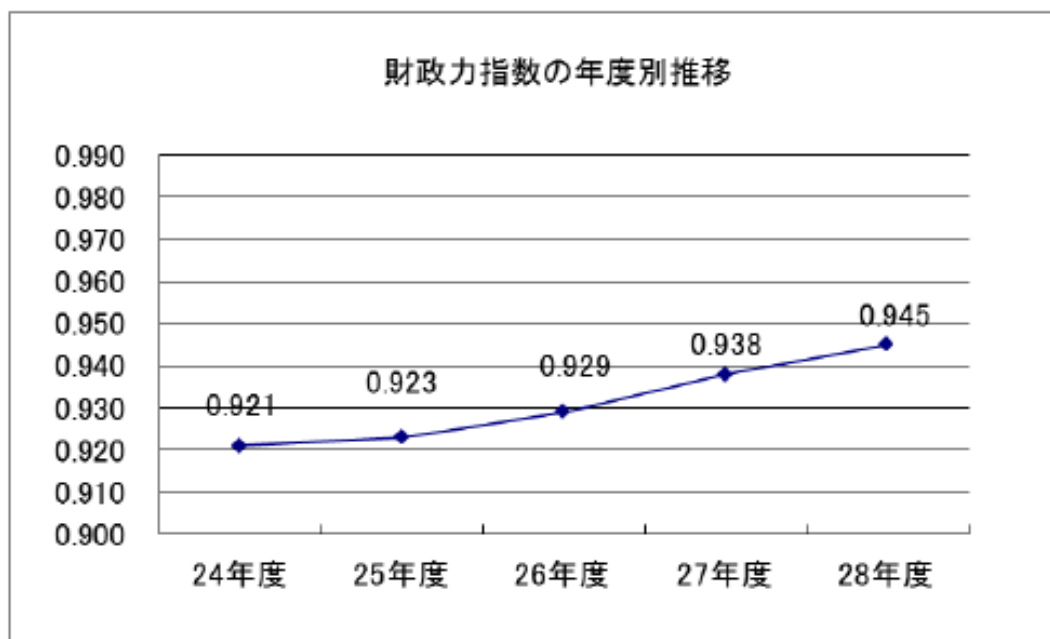


柏市の財政状況〔普通会計における財政指標について〕

(7) 財政力指数（基準財政収入額／基準財政需要額）

地方公共団体の財政力を判断する指標として用いられ、「1」を超えるほど財源に余裕があるものとされている。

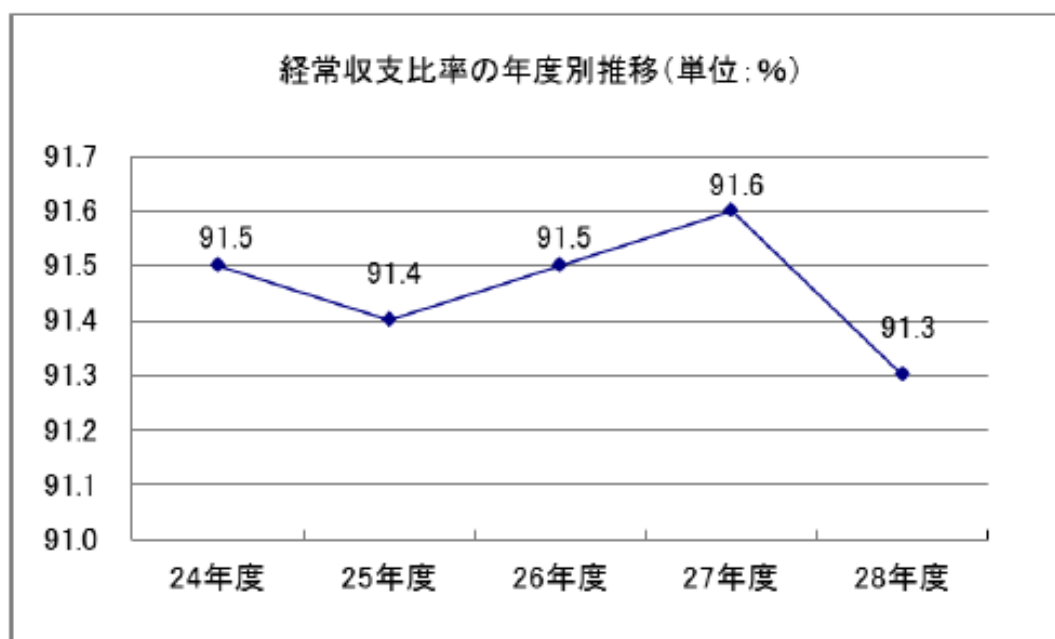
当年度の財政力指数は0.945で、前年度を0.007ポイント上回っている。



(イ) 経常収支比率（経常経費充当一般財源／経常一般財源総額）

財政構造の弾力性を判断する指標として用いられ、この比率が高いほど、経常財源にゆとりが少ないと考えられている。

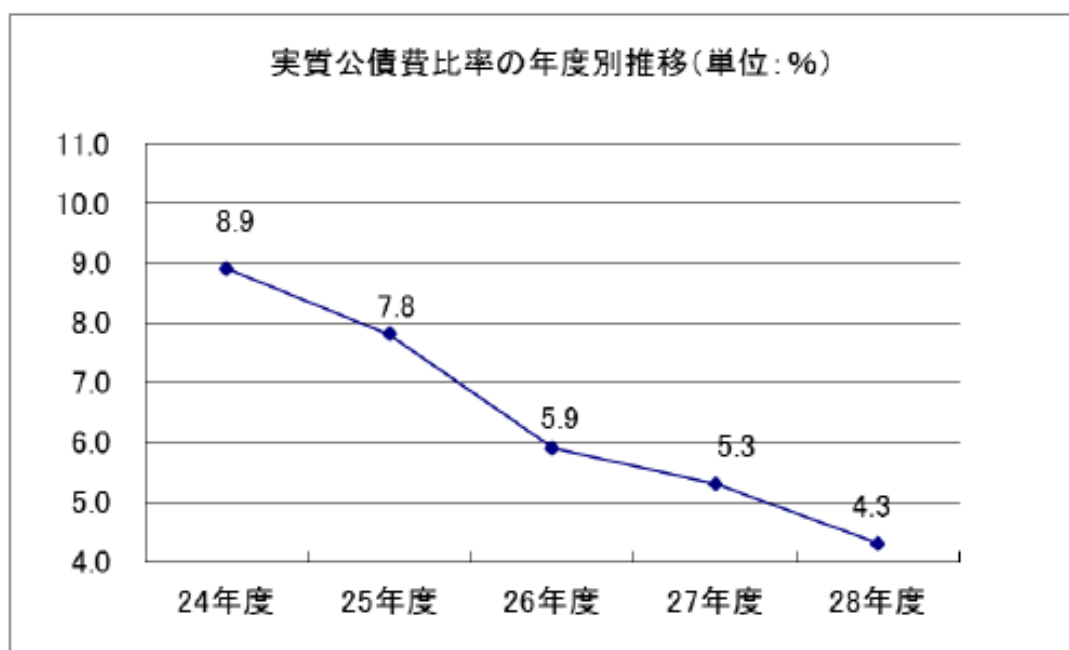
当年度の経常収支比率は91.3%で、前年度を0.3ポイント下回っている。



(ウ) 実質公債費比率

公債費だけでなく、公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた財政構造の弾力性を判断する指標で、18%以上になると地方債の発行に際し許可が必要とされている。

当年度の実質公債費比率は4.3%で、前年度を1.0ポイント下回っている。



『平成28年度 柏市決算審査意見書』より転載